

# 経過報告

事務局

◎第五回徳之島「夢」振興会議  
総会

18年5月28日 於：東興ホテル  
司会：定久事務局長で開会、議長：成島 清氏により議事は進められ、  
1 経過報告 2 会計報告 3 監査報告は全て承認された。

4 活動方針は全般については各担当から、①芸能「夢」まつり実施について ②徳之島ワイド祭りに向けて ③旧山古志村との交流継続について等、そしてフワーロードプロジェクトチームは、村岡リーダーが発表し、全て承認された。

5 NPO 法人化については、①任意団体の徳之島「夢」振興会議のままで NPO 法人を申請し、成立後移行する。②任意団体の徳之島「夢」振興会議での事業、会員、財産はすべて継承することが承認された。

◎NPO 法人徳之島「夢」振興会議設立総会

総会に引き続き開催された。  
1 設立趣旨 2 活動目的 3 定款 4 平成 18 年度及び平成 19 年度の事業計画及び収支計画 5 設立当初の役員及び役員報酬（役員報酬は当面無報酬） 6 設立認

証に係わる事項 ①設立当初の入会金及び会費の額の決定（本誌 7 ページ入会のご案内に記載）

②設立代表者の選任 徳田昌則  
③任意団体徳之島「夢」振興会議での事業、会員、財産は全て継承する。以上が承認・決定された。

◎懇親会

総会終了後の懇親会、司会は徳之島町出身の松田周三さん。幕開けは伊仙町出身の小坂田上さんによる沖繩舞踊「御前風」「カナヨウ」、続いて徳之島町井之川出身の村岡清男・しげ子夫妻のハーモニカ演奏、同轟木出身の定久文三・律子夫妻の「どんぐりころころ島口バージョン」などが会場を沸かせた。ゲストの高砂部屋力士 一ノ矢さん（徳之島町出身）が「相撲甚句」を披露、さらに一ノ矢さん自作の相撲甚句「夢振興会」の披露もあり、大変な盛り上がりであった。



## 相撲甚句 夢振興会

作詞：一ノ矢充



（ハアー ドスコイ ドスコイ）  
♪ハアーエー

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

故郷はなれて 幾年月 ヨー

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

ハアー いつも心に 徳之島

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

（ハアー ドスコイ ドスコイ）

## ◎山古志「牛の角突き」 第2回徳之島応援隊バスツアー

9月17日中越地震で被災した新潟県山古志村で、震災後始めている闘牛大会が開催された。昨年徳之島伊仙町で行われた「全国闘牛サミット」が、今回は山古志で開かれ、記念闘牛大会となった。サミットでは、徳之島から勝徳之島町長、大久保伊仙町長、鮫島闘牛連合会長、企画課長、鹿児島大学助教教授など6名「夢」振事務局長も参加し、全国闘牛開催地の地域間の交流促進、闘牛文化の伝承、闘牛による地域の活性化等が討議された。



我が徳之島「夢」振興会議も昨年に引き続きバスを貸しきって応援に駆けつけた。全国から3500人の観客が詰め掛ける中、オープニングでは関東徳之島のほりを立て、山古志の牛を先頭に町長たちも一緒にラッパ、太鼓、指笛を吹き鳴らしながら入場、手舞を披露した。引き続き定久事務局長から黒糖焼酎、義援金を長岡市長に贈呈した。徳之島からは3頭の牛が出場したので、試合が終わるたびに場内になだれ込み、ワイドワイドで会場を沸かせた。

